

## 海を泳ぐ鹿が 全国ニュースに!

8月29日、エゾシカが木ノ子地区の沖合を泳いでいるのが目撃され、新聞やテレビの全国ニュースなどで紹介されました。これは、同日午後5時半頃、同地区で農業を営む刀祢敏江さん(大留在住)が、海を泳ぐエゾシカを発見し、話を聞いて集まった住民や町職員がビデオなどで撮影した映像が、報道機関に伝わったことでニュースになったものです。

エゾシカは大安在地区から海に入ったと思われ、300m以上の沖合を南に向かって泳ぎ、岩礁などを大きく迂回しながら浜辺を目指していたようでしたが、人の姿を見ると再び沖合へと泳ぎ始め、日が暮れたことで姿は確認できなくなりました。以前も、町内では天野川河口付近を泳ぐエゾシカの目撃情報はありましたが、専門家によると海を泳ぐのは大変珍しいそうで、新聞紙の1面やテレビの全国ニュースで上ノ国町とエゾシカが大きく取り上げられることとなりました。



## 秋の魅力が溢れた 味覚祭



9月21日、上ノ国町物産センター連絡協議会(佐藤貞治会長)主催による「秋の味覚祭」が道の駅もんじゅで開催されました。特産品を販売する多種多様な店舗が並んだ会場では、くじら汁や上ノ国やきそば、上ノ国産の食材を盛り合わせたパーベキューや特産品などが販売され、漁獲されたばかりの鮭や採れたての秋野菜などを買い求めたり、温かな飲食物を味わう方々で大いに賑わいました。

また、このほかメークインの詰め放題や上ノ国の特産品が当たるくじびきなども行われ、催しが充実した味覚祭となりました。

## いざという時、体は動く? 津波からの避難訓練実施

9月5日、原歌地区と大崎地区を対象とした避難訓練を実施しました。

東日本大震災から3年が経過しましたが、現在も小ささまざまな地震が全国各地で発生しており、本町でもいざという時に備えて、毎年避難訓練を行っています。

訓練では、避難を促す放送が流されると地域住民が避難所へと移動し、最後に地区町内会長が足の悪い方のお宅を訪問するなど、本番を想定した訓練となりました。

避難場所では、配布された防災パンフレットに沿って説明が行われ、災害支援型自動販売機による飲料水の提供訓練がありました。

参加者には高齢者の方も多く、避難経路が急勾配なことから体力的な心配もありましたが、「息は苦しくなかったですか?」と問いかけると、「津波が来たら、そうも言ってもらえない」と力強く答えてくれました。



## 将来の夢を抱いて



9月17日から3日間、町内外23事業所の協力のもと、上ノ国中学校2年生52名による職場体験学習が行われました。

この職場体験学習は、生徒たちが希望する職場での体験を通して、働くことの意義や将来を考へることを目的に行われているものです。

それぞれの職場を訪れた生徒たちは、初めて取り組む「しごと」の一端に触れ、戸惑いながらも3日間の日程で一生懸命学ぼうと頑張っていました。

生徒たちに職場で気づいたことを聞くと、「話で聞くよりずっと難しくかったけど、これからは勉強してこの仕事につきたい」「将来やりたい仕事なので頑張ります」といった前向きな声もあり、この経験が生徒たちの将来に大きな影響を与えるものと感じられました。